



西側全景

東京駅丸の内駅舎

創建当時の外壁の保存・復原に採用、当時製造された外壁化粧煉瓦(通称赤煉瓦)の色合いを再現しました。

1914年辰野金吾氏が設計した東京駅丸の内駅舎の保存・復原工事に採用されました。創建当時は、外壁化粧煉瓦の製造は品川白煉瓦(株)が行いましたが、今回の復原は“明るい赤色”の再現を追求し、2010年から2011年までにかけて、約40万枚のタイルを焼成しました。国指定重要文化財である歴史的建築物の復原を追求し、2003年土の研究から焼成方法まで7年を要しています。これにより既存建物の外壁化粧煉瓦との張り合わせを可能にしました。またディテールの納まりにも拘り、コーナー役物は手作業で生産しています。



全景夜景

DATA

施主：東日本旅客鉄道株式会社

設計：東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所・東京電気システム開発工事事務所

東京駅丸の内駅舎保存・復原設計共同企業体

(株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所・ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社)

施工：東京駅丸の内駅舎保存・復原工事共同企業体(鹿島・清水・鉄建 建設共同企業体)

所在地：東京都千代田区丸の内1-9-1

竣工：2012年10月

商品情報

外装壁タイル:FC-11/109×60.6×15(mm)/特注

FC-11/227×60.6(mm)/特注

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

外観



北西側中景



全景夜景

内観、外観



北ドーム部中景



北切妻部全景

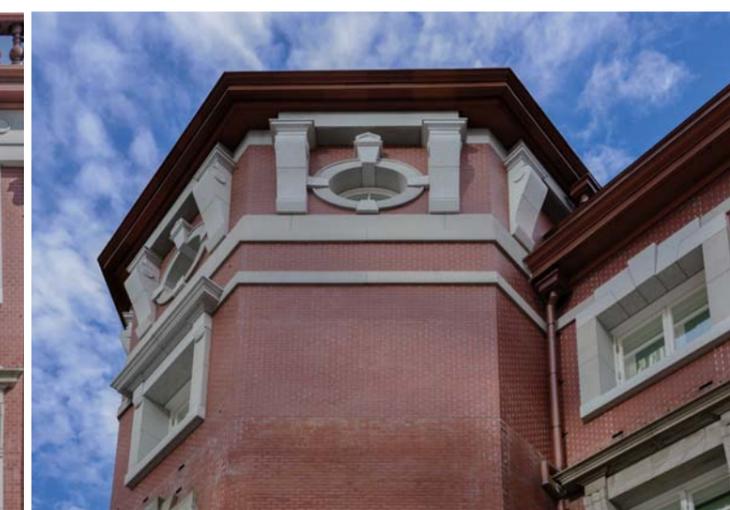


南切妻部中景

ディテール



北切妻部ディテール



北西側上層部ディテール